

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 2022 年秋の展覧会

瞳に映る

## ファンファーレ

浜口陽三の銅版画と  
川瀬巴水をはじめとした新版画

2022. 10. 29 sat. - 2023. 1. 29 sun.



1.

## 開催趣旨

浜口陽三は、20世紀を代表する銅版画家の一人です。銅版画の技法カラーメゾチントを開拓し、世界的に活躍しました。本展では浜口陽三の銅版画とともに収蔵品から風景を中心とした「新版画」30点を紹介します。版画は描いただけでは完成しません。描く、彫る、刷るという工程を重ね、長い時間をかけて1つの作品を生み出します。手仕事から生まれた端正な作品は、静かな調和をたたえ、音楽を聴いた後のように、気持ちを楽しませてくれます。作品が謳いあげる、何気ない風景の中の一場面や日常は、普段私たちが見過ごしてしまう隠れた美しさを気づかせてくれるかもしれません。うけとめるように絵の前に立てば、感動に満ちた世界のはじまりを告げる音が聴こえてくることでしょう。深く澄んだ銅版画と、典雅な木版画の饗宴です。いつまでも続く作品の余情をご堪能ください。

展示構成 浜口陽三作品約 30 点、新版画 30 点（うち川瀬巴水 13 点）

## ♪ 新版画とは

浮世絵の伝統を汲みつつ、近代日本の絵画の美意識を盛り込み、明治大正、昭和初期まで発達をとげた木版画。絵師、彫師、摺師の分業によって制作された、その時代の「新しい版画」です。本展では、一人のコレクターの目を通して蒐められた、鏗木清方門下を中心とした画家の手による、静かで気品溢れる作品が並びます。

## ♪ 浜口陽三のカラーメゾチント作品

柔らかな色のニュアンスあふれる独自の作風は、銅の板を気の遠くなるほどの時間をかけて繊細に彫り上げることによって生まれます。黄、赤、青と黒の4版を作り、4回プレス機にくぐらせます。



2.

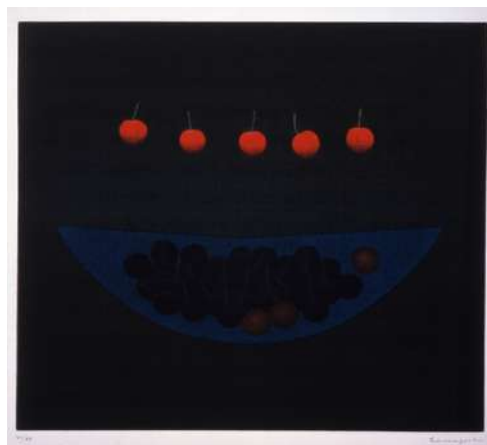
## 銅版画と木版画の饗宴

描き、彫り、刷る。

—それぞれの工程を経て重なる色が織りなす世界—

## ファンファーレ

—多彩な黒、凜とした風景… 美しい世界の幕開け—



3.

1. 浜口陽三《朱色の蝶》1979年 14.7×5.7cm 銅版画(カラーメゾチント)

2. 川瀬巴水《奥入瀬之秋》1933年 36.2×24.2cm 木版多色摺

3. 浜口陽三《さくらんぼと青い鉢》1976年 28.0×32.3cm 銅版画(カラーメゾチント)

## 展覧会関連イベント

### Event 1 水性木版画 色の重なりを体験しよう

水性絵具を使った木版画の多色摺りでポストカードサイズの作品をつくります。  
3版中1版を彫り、和紙に摺ります。初心者の方もご参加いただけます。

[講師] 岡田育美 (版画家)

[日時] 11/12(土) 午前の部/10:00~11:30 午後の部/13:00~14:30

[定員] 各回10名 [持ち物] 汚れてもよい服装またはエプロン

[参加費] 1,500円+入館料 [申込] [10/29\(土\)12:00よりお電話にて受付](#)

### Event 2 銅版画 メゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカードサイズの作品を完成させます。  
初めての方でも無理なくご参加いただける、初心者向けの教室です。

[講師] 江本創 (アーティスト)

[日時] 1/22(日) 午前の部/10:00~13:00 午後の部/14:00~17:00

[定員] 各回10名 [持ち物] 12×7.5cmの下絵、汚れてもよい服装またはエプロン

[参加費] 1,800円+入館料 [申込] [11/26\(土\)12:00よりお電話にて受付](#)



4. 伊東深水《秋晴》  
1930年 48.5×30.4cm 木版多色摺



5. 高橋松亭《雪晴》1925年 24.2×36.2cm 木版多色摺

## 展覧会小企画

### ♪ 若き詩人の感性に触れる インカレポエトリ × 版画

全国10大学以上から学生やその卒業生たちが集い、制作する詩誌「インカレポエトリ」のメンバーが、今回展示される版画作品を題材に詩を書き、会場の一角で披露します。詩は会期中に増えていきます。

### 🌙 連詩ナイト

展覧会に来館された皆さまから事前に言葉を残していただき、その言葉からヒントをもらいながら「インカレポエトリ」のメンバーが会場で連詩を作ります。前の人の詩に、次の人が詩を添えていき、全体で一つの詩を作りあげます。当日は詩作がはじめての方がチャレンジできるコーナーもあります。見学、参加をご希望の方は、QRコードよりお申込みください。

[開催日] 2023年1月14日(土)17:30~20:30

[定員] 40名 [参加費] 入館料のみ

[申込] [特設サイトより随時受付](#)

特設サイト



## 基本情報

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 2022年秋の展覧会

「瞳に映る ファンファーレ

—浜口陽三の銅版画と川瀬巴水をはじめとした新版画—

会期 2022年10月29日(土)~2023年1月29日(日)

会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

休館日 月曜日(ただし1/9は開館)、12/26(月)~1/6(金)、1/10(火)

開館時間 11:00~17:00(土日祝 10:00-) 最終入館 16:30

《ナイトミュージアム》会期中の第1・3金曜日

(11/4、11/18、12/2、12/16、1/20)は20:00まで開館、最終入館19:30

入館料 大人600円、大学生・高校生400円、中学生以下無料

住所 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

アクセス 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口より徒歩8分

首都高速箱崎IC[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT 駐車場前

■プレスリリースご担当者様へ 掲載情報の詳細は、広報担当

主催：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション